

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0272301029		
法人名	社会福祉法人桐栄会		
事業所名	グループホームいこい		
所在地 (電話番号)	〒038-1204 青森県南津軽郡藤崎町水木浅田95番地 (電話) 0172-69-5007		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年9月15日	評価確定日	平成21年11月27日

【情報提供票より】(平成 21年 8月 26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 18年 2月 10日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	14人, 非常勤 人, 常勤換算 12人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨コンクリート造り		
	2階建ての 1階 ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	13,500 円	その他の経費(月額)	5,100 ~ 冬期10,200 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 400 円
	夕食	350 円	おやつ 円
または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(8月 26日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	2 名	要介護2	9 名		
要介護3	4 名	要介護4	3 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 78.9 歳	最低	73 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ときわ会病院、八巻内科循環器科小児科
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>同じ敷地内に、母体となる特別養護老人ホーム、デイサービス、ケアハウスの建物がある。リビングの窓からは岩木山が一望でき、季節の移り変わりが感じられる。職員の質の向上と、サービスの引き上げにつなげていく為、外部研修や同業者との意見交換会、母体施設と協同の勉強会へ参加する事に力を入れている。看護師3名、栄養士1名の有資格者が揃っている為、利用者は安心して過ごすことが出来る。職員間での情報の共有とコミュニケーションが図れている為、共通の認識を持ち、利用者のケアに取り組んでいる。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価を活かし、権利擁護に関する制度の理解を深める為の勉強会、同業者との意見交換会の開催、地震発生に備えての訓練、重度化や終末ケアには対応されていないが、日々の健康管理や急変時の対応について、本人、家族、かかりつけ医との話し合いを行い、全員で方針を共有できるように改善している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員が、評価の意義を理解されており、ひとり一人が自己評価に取り組んだ後に、みんなで話し合いをして自己評価を作成している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は定期的で開催され、評価の結果や取り組み状況、行事、事故等が報告されている。地域の参加者からは、地域の行事等の情報や意見、アイデアが活発に出され双方向的な会議となっており、サービスの向上に活かしている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族面会時に日々の暮らしぶりの報告や、要望を引き出す配慮が行われており、玄関に投書箱も設置している。出された要望等については、職員みんなで受け止め、話し合い改善に向けている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域行事への参加や、日々の散歩時においても、気軽に挨拶を行うなど地域との交流を図っている。地域の方に認知症についての理解を深めて頂けるよう、ホームの新聞等を活用するなどして、普及活動を図っている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員みんなで話し合い、グループホーム独自の理念が作られている。理念の中に、地域密着型サービスも盛り込まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全職員が理念を共有し、いつでも見られるように掲示されている。会議の場でも理念について実践されているか話し合いが行われている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	散歩時には地域の方と挨拶を交わしたり、地域の行事があれば参加するなど、交流が図られている。認知症についての理解を深めて頂けるよう、ホームの新聞を地域の方へ配付するなどして普及活動を図っている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>全職員が評価の意義を理解しており、みんなで話し合いを行い自己評価を作成している。評価の結果を踏まえ全職員で話し合い、改善に向けて取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的開催され、評価についての取り組み状況等報告されている。参加者の方からの意見やアドバイス等を聞き、サービスの質の向上に活かしている。会議録もまとめられており、いつでも確認できるようにしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外にも管理者は町の担当者まで出向き、相談する機会がある。アドバイス等をもらいサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護に関してのマニュアルがあり、外部研修やホーム内研修等での勉強会をしている。現在、利用している人はいないが必要時には管理者、担当ケアマネが家族、利用者に十分な説明をしている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待についてのマニュアルがある。会議の場で虐待についての話し合いを行い、防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には重要事項説明書をもとに利用者、家族に十分な説明がされている。いつでも質問や疑問を受け、丁寧に対応している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に報告する他、ホーム新聞を発行し、普段の暮らしぶりをお知らせしている。また、受診後や状態変化時には電話等で報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の面会時に声がけし、何でも言ってもらえるように配慮している。また、玄関に投書箱を設置している。意見等があった時は職員みんなで受け止め話し合い、改善に向けている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動のときは、ホームで送別会を行い利用者、家族へも十分な説明がなされ、ダメージを防ぐよう心がけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ホーム内の勉強会や、施設全体の研修毎月1回開催されている。外部への研修も職員みんなが参加できるような体制になっている。参加後は報告書にまとめ、職員みんなに伝えるようにしている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協会に入っており研修に参加し、その場で同業者との意見交換やアドバイスをもらってサービスの向上へつなげている。地域のグループホームとの意見交換会を2ヶ月に1度開催したり、電話で連絡もとっている。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>					
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前にホームの見学をして頂いたり、自宅へ訪問し顔馴染みの関係を作るようにしている。家族とも相談するなどしてホームに馴染めるような配慮がされている。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事の準備や後片付け等を普段の生活の中で一緒に行いながら、利用者から生活の知恵を学んだりしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の会話や家族からも情報を聞き、一人ひとりの意向を把握している。また、意思疎通困難な方には、本人の表情や仕草から思いを汲み取ったり、職員の意見を持ち寄ったりし、本人本意に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>会議の場で話し合い、職員の意見やアイデアを持ち寄って介護計画を作成している。それをもとに利用者、家族と話し合いながら介護計画書を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>期間に応じての見直しがされている。利用者の状態変化時にはその都度見直しがされ、家族へも説明されている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>受診時の通院や利用者、家族が希望する場所への送迎等、その人のニーズに応じて柔軟な対応がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望する医療機関での受診をしている。また、嘱託医にはいつでも相談ができるようになっている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度の終末ケアには対応していないが、日々の健康管理や急変時の対応については嘱託医と相談をしている。また終末期に向けて早い段階から本人、家族、かかりつけ医との話し合いを行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシー保護についてのマニュアルがあり、勉強会も行っている。個人情報規定もある。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は普段の声かけや会話等から、その人が何をしたいか引き出し、一人ひとりの希望やペースを大切に支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者と一緒に盛り付けや配膳を行っている。利用者同士、楽しく会話をしながら食事を楽しんでいる。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日は決まっているが、入居者の訴えや希望がある時はいつでも対応でき、入浴を楽しめる体制である。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>職員は日々の暮らしの中で入居者の得意なことや趣味を把握しており、得意分野での能力が発揮できるよう支援している。家族からも本人の好きなことを聞いている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>月1回はドライブを計画し実行している。天候の良い日には散歩したり、本人の希望があった時は買い物に行く等され、いつでも外出できるような支援がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修会等にも参加されており、マニュアルも作成されている。また、職員も拘束をしないケアについて理解されており、日々のケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアについて全職員も理解しているが、ホームが二階建てということや、ホームの周りは交通量も多く事故が起きる可能性があるということを配慮して自動ドアは常時、施錠している。		利用者、家族にも説明をし理解をして頂いているが、職員は会議の中で、日中だけでも鍵をしない工夫について話し合いをしているので、実現に向けて取り組まれることを期待したい。
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年3回災害対策についての訓練が行われている。年1回は消防立会いでも行われている。また、非常食や地域の協力員も確保されている。今後、水害についてのマニュアルも作成する予定となっている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設施設の栄養士が献立を作成して食事を提供している。その日の食事、水分摂取量はチェックしており、一人ひとりの栄養状態や体調に配慮した食事提供がされている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症についての勉強会を行っている。マニュアルも作成され、それに基づいての予防や対策の実践がされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内はとても明るく居間にはソファーやテーブル等が置いてあり、利用者みんなが集まって楽しい時間を過ごしている。また、光が入らない廊下にも電気がついていて明るい。窓にはその季節に合った職員手作りの飾り物もあり、居心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室には自宅から持ち込んだ馴染みの物を置いたり、家族の写真や自分で書いた作品等を飾り、自分らしい居室作りをしている。</p>		

 は、重点項目。